

2020 年度(令和 2 年度)
事 業 報 告 書

学校法人 新島学園

目 次

1. 学校法人の概要	2
(1) 学園の建学の精神と教育理念	2
(2) 学校法人の沿革	2
(3) 設置する学校・学科	3
(4) 学校・学科の生徒・学生数の状況	3
(5) 役員の概要	3
(6) 評議員の概要	4
(7) 教職員の概要	4
2. 事業の概要（2020 年度事業計画レビュー）	
(1) 法人本部	5
(2) 短期大学	9
(3) 中学校・高等学校	13

I 学校法人の概要

(1) 新島学園の建学の精神と教育理念

① 建学の精神

新島学園の名前は新島襄に由来し、「新島襄先生の人格をきん慕し、その遺風を顕彰しキリスト教精神を基本とする德育を施し、品性高潔な国家社会に有用の人材を育成する」とこととしている。

担う使命として、新島襄先生の教育理念に基づき「一国の良心ともいべき人物を育てる」を掲げ、また、「一年の計には穀を植え、十年の計には木を植え、百年の計にはすべからく人材を養え」との創設者の想いを基としている。

② 教育理念

・中学校・高等学校「教育5原則」

- 1) キリスト教精神を教育の基とする
- 2) 一人ひとりの生徒を愛し、その人格を重んずる
- 3) 知識水準を高くし、勉学の喜びを教える
- 4) 勤労を尊び、天然資源の利用を学ぶ
- 5) 己を知り、国を愛し、隣人に仕え、世界を友とする心を養う

・短期大学「教育モットー」

- 1) 真理：自分の使命を探求すること
- 2) 正義：信念に基づいた行動力を持つこと
- 3) 平和：相手の価値観、感情を尊重すること

(2) 学校法人の沿革

1947年5月 新島学園中学校(男子校)開校

1948年4月 学制改革により、新島学園高等学校並びに附属中学校に移行

1951年3月 学校法人に組織変更し、新島学園高等学校高等学部・同中学部に名称変更

1968年4月 高等学部・中学部を男女共学とする

1971年3月 新島学園高等学校、新島学園中学校に改める

1983年4月 新島学園女子短期大学国際文化学科開学

1986年4月 新島学園法人本部設置

2002年4月 高等学校、中学校を併設型に改組

2004年4月 新島学園女子短期大学を新島学園短期大学に名称変更し、男女共学とする

国際文化学科を募集停止し、保育学科及びキャリアデザイン学科を設置

2006年4月 短期大学保育学科をコミュニティ子ども学科に名称変更

(3) 設置する学校・学科

設置する学校	開校年月	学科	摘要
新島学園短期大学	1983年4月	キャリアデザイン学科	2004年改組
		コミュニティ子ども学科	2004年改組
新島学園高等学校	1948年4月	普通科	
新島学園中学校	1947年5月		

(4) 学校・学科の生徒・学生数の状況 (2021年5月1日現在)(単位:人)

学校名	入学定員	収容定員数	現員	摘要
新島学園短期大学	キャリアデザイン学科	130	260	251
	コミュニティ子ども学科	50	100	71
新島学園高等学校	200	600	698	
新島学園中学校	200	600	535	

(5) 役員の概要

(2021年5月29日現在)

定数 理事12人以内、監事2人

区分	氏名	常勤・非常勤の別	就任	再任	選任区分
理事長	湯浅康毅	常勤	2008年4月1日	2021年4月1日	学識経験者
理事	岩田雅明	常勤	2015年4月1日	2019年4月1日	短期大学学長
理事	古畑晶	常勤	2019年4月1日		中学校高等学校校長
理事	八田祥孝	常勤	2015年4月1日	2021年4月1日	学識経験者
理事	石井博明	常勤	2014年4月1日	2021年4月1日	学識経験者
理事	児玉實英	非常勤	2004年9月30日	2021年4月1日	学識経験者
理事	月本昭男	非常勤	2000年9月30日	2021年4月1日	学識経験者
理事	横山慶一	非常勤	2017年4月1日	2021年4月1日	学識経験者
理事	本井康博	非常勤	2021年4月1日		学識経験者
理事	増田貴治	非常勤	2021年4月1日		学識経験者
理事	原誠	非常勤	2021年4月1日		学識経験者
理事	静朋人	非常勤	2021年5月29日		評議員選出
監事	小瀧秀夫	非常勤	2019年4月1日	2020年9月30日	
監事	松村丈生	非常勤	2020年9月30日		

(6) 評議員の概要

(2021年5月1日現在)

定数 25人以内

氏名	選任区分	氏名	選任区分
高山有紀	法人職員	金子仁	学識経験者
小野充宏	法人職員	小林士郎	学識経験者
大野晋吾	保護者	小堀良夫	学識経験者
牧謙良	保護者	静朋人	学識経験者
櫻井雅寿	保護者	外所正明	学識経験者
下城郁雄	卒業生	富田全子	学識経験者
田中美香	卒業生	南都隆道	学識経験者
湯川嘉昭	卒業生	半田充	学識経験者
丸岡えみ	卒業生	藤口光紀	学識経験者
立見賢治	卒業生	細谷可祝	学識経験者
天田清之助	学識経験者	松本政之	学識経験者
有馬平吉	学識経験者	三宅豊	学識経験者
大野達久	学識経験者		

(7) 教職員の概要

(2021年5月1日現在)(単位:人)

区分	短期大学	高等学校	中学校	本部	合計
教員	本務	17	36	26	0 79
	非常勤	47	15	12	0 74
職員	本務	16	8	2	4 30
	兼務	2	1	1	0 4
合計		82	60	41	4 187

〈2020年度 事業計画レビュー〉

2021年5月29日

◇法人本部

事業計画	達成度 (実施済、未実施)	実施済の場合:成果/影響 未実施の場合:理由/課題(詳細に)	2021年度 継続有無	備考
防災・危機管理対策の充実 ・規程再確認等 ・コロナ対応 (物品調達) (Web会議)	実施済み 実施涼み 実施済み	成果:コロナ感染を受け、諸対応を進める中で、規程に基づく行動環境を確認/構築。 影響:規程に則った実質的な対応ができた。 成果:関係者の理解と協力もあり、感染防止に必要な物品を確保し対応できた 影響:大きな流れがあったとはいえ、事態に即応できた。 成果:理事、監事、評議員へPCを貸与し、濃厚接触を避け、Web会議ができる環境を整備できた。 影響:PCリテラシーの個人差はあったものの、遠距離からの参加も可能となり、会議を中止することなく継続できた。	継続して実施。 必要に応じ 継続して実施 継続して実施	規程の再認識ができた。 紙の節約に繋げる
心身のケア及び労務管理の整備 ・ストレスチェック ・健康管理 ・公益通報等 ・教職員勤務環境改善	実施済み 実施済み 実施済み 実施済み	成果:定例のストレスチェックを実施できた。 成果:補助制度の変革に流動的に対応し、補填環境を確保できた。 影響:自己管理に向け、啓蒙できた。 成果:公益通報制度の再構築 各部門相談者/通報先等を再確認 制度/具体的な対応等を周知 専用のメルアド、専用電話を設置 成果:危機管理に伴う業務量を評価して、一定の対応ができた。 :有給休暇取得に関し、各部門で対応	継続して実施 継続して実施 継続して実施 継続して実施	更に制度の周知を行う 制度の仕組みを構築する必要がある
活発な運営体制の構築 ・理事会/評議員会 ・役員損害賠償責任保険	実施済み 実施済み	成果:貸与したPCの活用により、柔軟に対応でき た。 影響:リモート環境での開催を重ね、PC端末の活用環境が整いつつある。 成果:私学法の改正に伴う、役員損害賠償責任を補完するため、「損害賠償責任保険」に加入 影響:幸いにも対象事案は発生しなかったが、萎縮することなく、運営ができた。	継続して実施 継続して実施	ペーパーレス化の評価検証

・中期経営計画	<u>実施済み</u>	成果:中期経営計画策定について、9月及び11月から議事として協議/報告を実施。 影響:策定過程を共有できた。	継続して実施	教職員間での共通認識形成
・情報交換研修	<u>未実施</u>	結果:コロナ感染に伴う「密回避・移動制限」等もあり、実施に至らず。	継続して計画	早期の内容検討/立案
・本部機能充実	<u>実施済み</u>	成果:4月から法人本部総務課長に専任者を配置、5月から財務及び危機管理担当理事を常勤として迎えた。 影響:機能強化が図れた。 :部門間の連絡調整、即時対応		
盤石な運営体制の構築				
・生徒学生募集	<u>実施済み</u>	成果:中高/短大で努力し、一定の入学実績を確保。	継続して実施	定数の検討も
・ファンドレイジング	<u>実施済み</u>	成果:予算には届かず。 要因:情報が関係者に届いていない、或いは、寄付行為への動きに繋がらないか。	継続して実施	継続して実施 制度周知方法検討
・資金運用	<u>実施済み</u>	成果:一任運用(大学共同基金第4号)にて成果が得られた。 影響:運用方針の見直しを方向付け。	継続して実施	資金需要予測の検討
・NGGD2027	<u>実施済み</u>	成果:第5次中期経営計画策定を含め、協議を進めることができた。 :中高においては、改革委員会の機能を持ち、中間報告を行うことができた。 影響:検討委員会での協議を通じ、共通認識を形成できた。	継続して実施	
キャンパス施設設備整備計画の構築				
・施設整備計画	<u>未実施</u>	結果:中高/短大とも長期整備計画のとりまとめには至らず。 要因:NGGD2027で今後の教育方針等を検討中もあるが、コロナ禍もあり、未了。	継続して実施	専任者の配置 資金需要予測
部分整備	<u>実施済み</u>	成果:中高では、礼拝堂のLED化を実施。短大では、新木造校舎周辺整備を実施。 影響:礼拝堂の照明環境の改善、短大では、駐車場環境の改善ができた。	継続して実施	
・中高周辺用地検討	<u>実施済み</u>	結果:検討を継続にするにとどまる。 課題:明確な方向性は未調整の段階 検討対象想定地の動向未定	継続して実施	
新島ファミリー&新島コミュニティとの連携				
・同窓生との	<u>未実施</u>	結果:コロナ禍において、中高本部同窓会及び	継続して実施	

交流		<p>短大同窓会はリモートで総会を開催、地区根組会は総会等開催を中止。 :改革委員会の活動において、中高同窓会関係者の協力を得ている。</p> <p>要因:コロナ感染予防対策に伴い、開催自粛。</p>		
ガバナンスの充実 ・情報の共有 ・研修 (専門/一般) ・改革 ・規程類整備	実施済み 未実施 実施済み 実施済み	<p>成果:常任理事による定例協議、事務長会議による情報共有を実施 影響:円滑な運営に一定の効果を得た。 結果:専門研修制度の導入には、至らなかった 結果:一般研修に関しては、コロナ禍により、団体催者の研修が中止された例が多く機会が得られなかった。 :中高/短大内での研修は実施された。</p> <p>成果:中高において、刑事事件に関連し、「改革委員会」を設置し、振り返りを行うとともに、改革対応をとりまとめ、中間報告として、理事・監事・評議員及び関係者に公表。</p> <p>成果:必要が生じた改正について適時実施 :改正を必要とする規程類の整理実施 影響:規程の再確認と規程に則った手続きを行う環境ができつつある。</p>	<p>継続して実施</p> <p>継続して検討</p> <p>継続して実施</p> <p>継続して実施</p>	<p>研修に参加できる環境整備</p> <p>見直し必要箇所の検証意識改善</p>
学校法人出資子会社	未実施	結果:先進事例従事者との協議を行う。 :情報収集にとどまる	継続して実施	専任者の配置検討
ブランド力の強化 ・中期計画に位置づけ	実施済み	<p>成果:第5次中期経営計画に位置づけた。 :第4次中期経営計画に位置づけたCI計画にかかる「VI Guideline」を策定 影響:VIに関しては、中高/短大において先行して実施(施設表示等)</p>	継続して実施	NGDD2027と合わせCIの他分野検討(MI/BI)
100周年に向かって ・計画の実質化	・実施済み	<p>成果:私立学校法の改正により義務づけられた中期的な計画として、第5次中期経営計画を策定。(2021-2026/6年間) 影響:計画策定において、共通認識を形成できた。 :理事長のビジョンが改めて示された。</p>	継続して実施	
情報発信力の強化 ・広報センター機能の充実	実施済み	成果:ブランドディレクターから「VIイメージ戦略」を提起。	継続して実施	各部門での情報発信充

・HP 機能充実	実施済み	成果:掲載情報の充実を図った。 :HP に「フェイスブック」「インスタグラム」「ユーチューブ」の アイコンを設け情報発信の継続 :内容を適時更新	継続して実施	実
----------	------	---	--------	---

2020 年度 事業計画レビュー (短期大学)

事業計画	達成度 (実施済、未実施)	実施済の場合：成果/影響 未実施の場合：理由/課題(詳細に)	2021 年度 継続有無	備考
受験生や学生、 および取り巻 く環境を認識 する	実施済み。	<p>成果：新入生にアンケートを実施した。両学 科とも本学受験のきっかけは高校の先生の 勧めとなっている。また本学の魅力につい ては CD 学科では編入実績、就職実績、コ ース制、CC 学科では幼・保の両免許取得、コ ース制となっていて、昨年は 3 位だったキ リスト教主義教育は最下位となっている。</p> <p>競合校については CD 学科では高崎経済、 前橋国際、群馬大学で、 CC 学科では育英、 明和短大となっている。</p> <p>就職先へのアンケート結果は、 CC 学科につ いては、昨年一つもなかった 5 段階の最高 評価が、今回は 10 項目中 6 項目が最高評価 となっている。</p> <p>影響：CC 学科においては、幼保両免許が取 得できること以外の学びの魅力をつくって いく必要性を感じた。</p>	継続して実施。	
教育力、研究力 の向上を図る	実施済み。	<p>成果：CC 学科では初年次教育プログラムを 強化し、目標をもって 2 年間を過ごせるよ うに工夫をしている。また、次年度に向けて 地域の幼稚園等経営者によるリレー講義も 準備した。学生のクラウドファンディング による「子ども運動教室」も実施できた。CD 学科においては、就職指導に関する授業科 目を新設し、キャリアデザインの機能を強 化した。</p> <p>研究面では、当該学会で中心的な役割を担う 教員もいて、本学での学会開催(2件中 1 件は 延期)も実現した。紀要については、短大全体 のものを 1 回、CC 学科独自のこども論集を 1 回発行した。</p> <p>影響：CC 学科のカリキュラムが学生のニー</p>	継続して実施。	

		ズに合った形で整備されてきた。		
事業計画	達成度（実施済、未実施）	実施済の場合： 成果/影響 未実施の場合： 理由（詳細に）	2021年度 継続有無	備考
職員力の向上と業務の効率化を図る	実施済み。	成果：部門を超えての業務乗り入れを行い職員間の連携を図った。また連絡の場も増やしコミュニケーションの活性化を図った。職員研修については2回実施。 影響：部門間の壁の解消が図れた。職員の対応に関して学生の評価が上がっている。	継続して実施。	業務の効率化については、さらに進展を図る必要がある。
学生生活の満足度を向上させる	実施済み。	成果：2年生にアンケート調査を実施。学生生活満足度はCD学科68.8%（昨年44.9%）CC学科は18.5%（昨年26.5%）となっていて、CC学科の低下はコロナ禍の影響を受けている。満足度、不満足度とも、教員が与える影響が大きい。後輩から新島短大入学について相談されたら勧めますかという問に対しても、勧める比率がCD学科78.1%（昨年63.0%）、CC学科は81.5%（昨年50.0%）となっていて、CC学科が大きく改善されている。理由としては、少人数、楽しいというものが多くの挙がっている。CC学科として学生満足度を意識した結果が表れている。 影響：新校舎の完成、就学支援金の支給といったことも満足度の向上につながっているが、教職員が学生満足度向上を意識していくことが成果に結びつくものと思われる。	継続して実施。	
卒業後の進路支援体制を強化する	実施済み。	成果：新型コロナ感染拡大で途中中止となつたが、春休み中に1年生との面談を実施し、就職への意識づけを行った。指定編入に関しては1大学と新たに連携を締結した。就職先となる企業、幼稚園、保育所等への訪問を、数はそれほど多くないが実施し、先方のニーズ等を聞き取ってきた。 影響：就職状況もコロナ禍ではあったが良好であり、編入も国公立大学合格者数では私立短大でナンバーワンとなった。	継続して実施。	

事業計画	達成度（実施済、未実施）	実施済の場合： 成果/影響 未実施の場合： 理由（詳細に）	2021 年度 継続有無	備考
広報活動の強化を図る	実施済み。	<p>成果：入試、就職関係の情報共有のため、定期的に学内に対して状況を発信してもらった。訪問等ができなかった分、高校に対しては Fax 等で情報を提供した。ニュースリリースは行事等がなかったため、大幅に減少した。</p> <p>影響：新聞等での記事掲載は、目標 50 件に対して 31 件であった。募集に関しても、四大の一般入試受験者減を受けて、CD 学科の一般入試での募集が振るわなかった。</p>	継続して実施。	
社会等との連携活動を質・量ともに向上させる	実施済み。	<p>成果：草津温泉やみどり市との取り組みは中止となつたが、新たにみどり市商工会との連携事業を実施した。高校との連携は 2 つの高校（安中総合、吉井）と協定を締結した。経済団体との連携は、群馬経済同友会、高崎市卸売商社街の 2 団体と協定を締結し、群馬中小企業家同友会とは授業において連携を行つた。</p> <p>影響：連携した組織を通じての人脈形成も期待できるので、学生の新たな学びの機会形成に役立てていきたい。</p>	継続して実施。	
支援組織の強化と連携を図る	未実施。	<p>成果：父母の会は書面決議、後援会は 10 月に総会実施と、最低限の活動の実施にとどまった。</p> <p>理由：コロナ禍により、予定していた各組織の総会、役員会の対面実施、父母の会、後援会共催の大学祭でのバザー、父母の会 OB との情報交換会等が実施できなかつたため。</p> <p>影響：書面により保護者の意見をこれまで以上に集められたので、今後の活動の参考としていく。</p>	継続して実施。	
危機管理体制		成果：危機管理対策会議を組織し、独自の警		情報セキュ

を整備する	実施済み。	戒レベルを設定して感染防止に努めた。ハラスメント研修を1月に実施した。 影響：危機管理対策会議で現場の意見を聞きながらの対策が取れたので、機動性が発揮できた。	継続して実施。	リティも含め、マニュアル策定には至らなかつた。
-------	-------	--	---------	-------------------------

2020年度 事業計画レビュー （中学校・高等学校）

事業計画	達成度 (実施済、未実施)	実施済の場合：成果/影響 未実施の場合：理由/課題(詳細に)	2021年度 継続有無	備考
キリスト教精神に基づく新島襄の心を心とする教育を行う。 ・礼拝関連	実施済み。	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンクリスチヤン教員でもクラス礼拝などで聖書の話をすることで、キリスト教精神の理解を深められた。 ・新島襄・建学の精神を新入生・新人教員に語り、新島学園に対しての理解や教育の五原則の重要性を高めることができた。 <p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長自ら、礼拝を通じて「隣人を愛する」「感謝の心」「愛の実践」を語り、心の教育の大切さを伝えてきたことで、教員の意識変化に繋がった。 	継続して実施。	
・行事関連	未実施。	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で季節の行事、コンサートがほとんどできなかった。 ・礼拝堂の使用が、ほとんどできなかった。 また、オルガンコンサートもできなかった。 <p>(課題)</p> <p>演奏者の選定も必要。</p>	2021年度実施予定。	
危機管理・情報管理 ・LGBTQ 研修 ・ハラスメント	実施済み。 実施済み。	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBTQ 講演会を各学年・保護者・教職員に行ない、多様性の理解を深めることができた。 <p>(影響)</p> <p>男子制服の女子使用に関して認めた。更に、差別・偏見に関して考えていきたい。</p> <p>(成果)</p>	継続して実施。 継続して実施。	

研修	実施済み。	<p>・教員に関するハラスメント研修を行ない、個々人が自分の行動や発言を見直す機会となつた。</p> <p>(成果)</p> <p>・教員1人1台PCの貸与実施の際に、セキュリティレベルを高め、セキュリティ意識も醸成した。</p> <p>(スクリーンセイバー、PW付きUSB設置)</p> <p>・個人情報の管理機能を高めた。</p> <p>(どこが管理するのか。鍵の有無など。)</p> <p>(成果)</p> <p>・春先の休業・分散登校などを経験し、コロナ感染症に対しての危機感を共有し、全校をあげて対策を実施した。</p> <p>(影響)</p> <p>・対応スピードとコロナ対策マニュアルの精度を上げることができた。</p>	継続して実施。	
事業計画	達成度 (実施済、未実施)	<p>実施済の場合: 成果/影響</p> <p>未実施の場合: 理由(詳細に)</p>	2021年度実施予定。 (5月末から実施)	備考
グローバル化を生き抜く人間力育成と学力向上を図る。 ・英語講座など	実施済み。	<p>(成果)</p> <p>・コロナの影響はあったものの、規模を縮小して英語講座、講演会などを実施することができた。</p>	継続して実施。	
・ITリテラシー	実施済み。	<p>(成果)</p> <p>・コロナの影響もあり、ICT教育が進んだ。スタ</p>	継続して実施。	

・海外研修	未実施。	<p>ディイサブリ、Zoom、YouTube などを用いて遠隔授業に取り組んだ。</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で、海外研修は、すべて中止。 	2021年度実施予定。	
教職員の能力育成と「やりがい」のある仕事達成をめざす ・教員研修	実施済み。	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部の Web 研修を導入し、個々人が必要とする講座を受講。 <p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用については個人差があるものの、受講する講座の傾向を把握出来るため、今後の研修体系の構築の参考とする。 	継続して実施。	
・土曜授業廃止	実施済み。	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を推し進めるため、土曜日の振りかえ休日取得推進を行ない、定着しつつある。 <p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の取組みにも変化があり、外部指導員の活用が定着しつつある。 	継続して実施。	
保護者・同窓会・地域交流・発展をめざす ・新島学園ファーム	実施済み。	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新島学園ファームの活動が再開し、安中ローラリー役員、PTA 役員、地域の方々などの協力を得ることができた。 <p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、探求型/総合型授業での活用や、地域企業との商品開発などにも繋げていきたい。 	継続して実施。	
・行事関連	未実施。	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で音楽会・クリスマス礼拝などを行うことができず、地域の方々との交流機会を作れなかった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼拝堂を用いた地域と合同の行事を企画し 	2021年度実施予定。	

		ていきたい。		
生徒・教員の健康および精神的なサポートをする。 ・特別支援	実施済み。	(成果) ・2021年度から特別支援教師を採用することが出来、支援を必要とする生徒の対応を厚くすることができる。 (影響) ・生徒だけでなく、教職員への指導なども依頼し、学園全体で対応強化が図れる。	継続して実施。	
・その他サポート	実施済み。	(成果) ・牧師室教員の専任化、カウンセラー・教育相談の充実、いじめアンケートの実施(教員の対応)などが進み、生徒・教職員へのサポート強化ができた。また、校長による授業参観、教員面談を頻繁に行ない、現場の課題を共有している。	継続して実施。	
少子化を視野に入れた生徒募集目標を達成する。	実施済み。	(成果) ・中学入試に関しては、内容を重視することにより 180 人弱の人数を確保。(入試の形態を議論していく必要がある。) ・高校入試においては、高校募集を行っていることが認知されつつある。現在、220 人強の人数を確保。 ・今後、帰国子女を積極的に受け入れる。	継続して実施。	